

今こそ
若い力で
新しい習志野。

Report

関根ひろゆき

No. 36

令和二年度
第三回定例会市政報告



ICT施策の取り組み状況について

Q: 習志野市のICT施策の取り組みについて伺う。

A: AIを用いた会議録システム、タブレット端末導入によるペーパーレス化、AIチャットボットの実証実験を予定している。
 今後はキャッシュレス決済の更なる拡大やLINEを活用した行政サービスの実施を検討している。

要望: 多くの市民が利用しているLINEをプラットフォームとして活用する事で災害時の情報提供も含めて非常に効果が期待される。
 積極的な検討と導入を要望。

DX憲章について

Q: 市川市が策定したDX憲章について伺う。

A: 本憲章の目的として、デジタル技術を積極的に活用する事により、業務の無駄の削減、経営資源を効率よく使い、新たな価値の創造へとシフトするとされている。

要望: 習志野市のICTは後れを取っている。本市ではICT推進係しかない。
 課の創設や民間活力の導入を図るよう要望。

自治体におけるDX推進の意義

自治体においては自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められる。

習志野市でも積極的に推進していくことが重要です。

🌸 コロナ禍の学びの保障

Q: コロナ禍の学びの保障について伺う。

A: 臨時休業中は課題を配布しての家庭学習や、学習応援サイトの開設等で学びを支援してきた。今後はオンライン授業に対応できるようにタブレット端末の整備を進め、学びの保障を行っていく。

要望: タブレット端末を最大限活用した学びの保障。いじめ、教育相談の充実、適正規模・適正配置を軸とした学びの保障の実現と共に、家庭教育支援条例の制定を再度要望。

🌸 LINEでいじめ相談

長野県教育委員会のLINE相談専用アカウント「ひとりで悩まないで@長野」で中高生の悩み相談を受け付けたところ、2週間で時間外のアクセスを含めると約3500件あった。前年度1年間の電話相談は259件。習志野市でも早急な導入を。



🌸 市内児童生徒にタブレット端末を支給

「新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波が想定されるなか、ICTの活用により全ての子ども達の学びを保障できる環境を早急を実現するべく、一人一台のタブレット端末の整備を令和5年度から令和2年度に前倒しする。併せて家庭でも繋がる通信環境を整備する。」

小学校9271台、中学校4070台のタブレット端末を購入。このほか、自宅にルーターがない家庭のために、小学校498台、中学校352台のルーターを購入し、ルーター通信費3か月分の予算も確保します。

🌸 支給されるタブレット



Dynabook K50

- ・画面が完全自立し、机から滑り落ちる心配がない
- ・小さな手にもフィットする打ちやすいキーボード
- ・約16時間のバッテリー駆動、急速充電にも対応

活動報告 Report

関根ひろゆき



モリシア津田沼前の横断禁止箇所



事故防止要望に沿いガードレールを設置

PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒園

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年習志野市議会議員選挙当選(二期目)

ホームページ

<http://sekine-hiroyuki.jp>

発行: 関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & 📞 :047-779-4092



討議資料